

瑞穂市食育推進会議会議録

審議会等の名称	第 2 回 瑞穂市食育推進会議
開催日時	平成21年10月2日(金曜日) 午後3時00分から5時00分
開催場所	瑞穂市総合センター5階 第4会議室
議 題	(1)目指す姿について (2)スローガンについて (3)目標について (4)目標に向かっての実施内容について (5)その他
出席委員 欠席委員	出席委員(会長)小川宣子、石山絹子、大野和代、加藤悟、加藤嗣泰、 河野秀明、小林京子、千田美穂子、棚橋和子、林春代、広瀬弥恵子、 松久智子 欠席委員(副会長)福野寿英、馬場晴美、堀口峯子
公開の可否 (非公開理由)	可
傍聴人数	0 人
審議の概要	(1) 目指す姿について 食育推進計画で瑞穂市として目指す姿を協議しました。 事務局案：「食を通じて、元気な心と体を育む力を身につけ、 感謝の気持ちをもちつつ、笑顔で地域と共に生きる」 代案1：食を通じて3つの姿を育てます ・食を通じて元気な心と体を育みます ・食を通じて感謝の気持ちを育みます ・食を通じて笑顔で地域と共に生きていきます 代案2：「食を通じて、元気な心と体を育む力と感謝の気持ちを 培い、笑顔で地域と共に生きていく」 代案3：「元気な心と体を育む力を五感を生かし身につけ、 感謝の気持ちで、笑顔で地域と共に生きる」

以下の意見が出ました。

- ・事務局案は皆の意見がまとまっているが、長い。
- ・代案1のように文を分けたほうがわかりやすい。
- ・代案1は子供にもわかりやすい。
- ・目指す姿はどのような人を育てるかという目的なので、スローガンが別途にあるなら、他の案のように文が長くても良いと思う。
- ・代案3の「五感」という言葉を目指す姿に入れるのは難しい。目標に入れてはどうか。
- ・代案2がまとまっている。
- ・事務局案で「気持ちをもちつつ」→「気持ちを培い、養い、持ち」「生きる」→「生きていく」
このように表現を変えてはどうか。

意見をまとめ、目指す姿をまずは以下のように決定し、後ほど表現の修正等を協議することとし、スローガンを別途に掲げることとしました。

「食を通じて、元気な心と体を育む力を身につけ、
感謝の気持ちを養い、笑顔で地域と共に生きる」

(2) スローガンについて

食育推進計画を広めるために、誰もが親しみをもてるようにスローガンについて協議しました。

案①「笑顔あふれる元気な心と体の瑞穂っ子」

- ②「みずほの自然と仲良く、楽しく食べて元気なところとからだ」
- ③「地産地消のおいしい野菜で、元気なところとからだを！」
- ④「みずほ大好きありがとう。皆が元気な心と体」
- ⑤「育もう。元気なからだと感謝のこころ。地域とともに、やさしいみずほ」

以下の意見が出ました。

- ・案⑤がわかりやすく、ゴロがよい。
- ・案⑤が目指す姿がわかりやすく表現されていてよい。
- ・案⑤が子供にとっても身近に感じられる。
- ・案⑤は長いので「地域とともに、やさしいみずほ」を省いてはどうか。
- ・案⑤の「やさしいみずほ」という表現が、他と違い瑞穂の特徴だと思う。

意見をまとめ、以下のようにスローガンを決定しました。

「育もう。元気なからだと感謝のこころ。
地域とともに、やさしいみずほ」

(3) 目標について

〈全世代を通じた目標（案）〉

- ①楽しく食事をとり、「食」を通じてコミュニケーションを深める
- ②健康な食生活を実践し健康な体をつくる
- ③食べものを大切に作る心豊かな生活を送る
- ④ふる里の味・旬の味を大切にする

以下の意見が出ました。

- ・②が「健康」という言葉が2回でてくるので、「健全な食生活」に変えてはどうか。
- ・②の文章の頭に「自ら」という言葉を入れてはどうか。
- 自らできない方もいるため、全体の目標には入れないほうがよいのではないか。
- ・「五感」という言葉を入れる際に、触れる、香りを嗅ぐなど表現を変えてはどうか。
- ・ライフステージ別の目標に「五感」について入れるのはどうか。

〈ライフステージ別の目標（案）〉

以下の意見がでました。

妊娠期：

- ・「ストレスをためずに明るく生活をしましょう」という内容を追加してはどうか。
- 食育ということから、かけはなれたことになるのでは。
- ・楽しく食事をとり、困った時には誰かに相談をしよう。という内容のものを入れてはどうか。

乳幼児期：

- ・伝統料理や行事食を知るという内容は学童期に入れるか、親しみをもつという表現にしてはどうか。

学童期：

- ・朝食をしっかり食べることを追加した方がよいのでは。
- ・「五感」という言葉を入れる際に、触れる、香りを嗅ぐなど表現を変えてはどうか。
- ・目標には「五感」という言葉は入れず、実際に行う活動内容の方に入れてはどうか。
- ・「体験学習などを通じ、何をどれだけ食べたらよいかを自分で判断できる力を身につけましょう。」という目標は、考えが狭くはないか。

・この時期の食育は給食、家庭科、社会、理科、保健等の教科とも関連がある。また内容も様々なため、もう少し考えをまとめたたい。

青年・成人期：

- ・朝食をしっかり食べることを追加した方がよいのでは。

壮年期、高齢期：

- ・壮年期、高齢期ともに、「和食」という表現を「食事」に変えたほ

	<p>うがよいのでは。または、米を中心に油をとりすぎないような食事等。</p> <p>(4) 目標に向かっての実施内容について 各委員から意見が出ている実施内容について、不足分を付けたし 次回の会議にて協議していきます。</p> <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 次回の会議は11月に行う予定です。 ・ 目指す姿、スローガン、目標、実施内容について再度意見をまとめ、次回協議します。 ・ 事務局は朝食の欠食率等、データを用意。
<p>事務局 (担当課)</p>	<p>瑞穂市 市民部 健康推進課</p> <p>TEL : 058-327-8611</p> <p>FAX : 058-327-4556</p> <p>e-mail : kenkou@city.mizuho.lg.jp</p>